

Course number		U-LAS14 20012 LJ68					
Course title (and course title in English)		行動生態学入門 Introduction to Behavioral Ecology		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Global Environmental Studies Professor, ITIOKA TAKAO	
Group	Natural Sciences		Field(Classification)		Biology(Issues)		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group B		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2026・First semester	
Days and periods	Mon.2		Target year	Mainly 1st & 2nd year students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
人間を含めた動物にみられる様々な行動の進化や社会性の進化を理解するために有効な行動生態学の考え方、基礎的な理論を習得することを目的とします。							
[Course objectives]							
自然選択による生物進化を詳しく理解することができる。 人間の行動を含めた動物の行動についての理解が進む。 人間・動物が関わるあらゆる現象について科学的に分析し、人間の意志決定を合理的に考察する思考法が養われる。							
[Course schedule and contents]							
上記の目的に従って、以下の話題に沿って講義を行う予定です。 1. はじめに： 行動生態学とは何か？行動を説明する4つの「なぜ？」 2. 行動の進化をもたらす自然選択1： 自然選択とは何か？ 3. 行動の進化をもたらす自然選択2： 行動は遺伝するか？ 4. 行動の進化をもたらす自然選択3： 行動はどのように進化するか？ 5. 最適戦略の進化： 最適な行動とはなにか？ 6. ゲーム理論： 駆け引きはどのように進化したか？ 7. 利他性と利己性： 生物はいかに利己的なのか？ 8. 性選択： なぜ浮気は進化するのか？ 9. 育児： 誰が子育てをするのか？ 10. 血縁選択1： 身内びいきはどのように進化したのか？ 11. 血縁選択2： 社会性とは何か？ 12. 血縁選択3： 親子・兄弟げんかはなぜ起きるのか？ 13. 互惠的利他行動： 見返りを求めない助け合いは進化するのか？ 14. 文化進化： 文化は行動の進化にどのような影響を与えるのか？ 《定期試験》 15.フィードバック 等							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
1回の定期試験（筆答またはレポート）で評価します。 出席状況は評価の対象にしません。							
Continue to 行動生態学入門(2)↓↓↓							

行動生態学入門(2)

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

復習のみで十分ですが、授業中に紹介する参考書などを用いて、自主的な学習を期待します。

[Other information (office hours, etc.)]

生物学の専門的な知識がない学生でも理解できるように講義内容を調整していますので、受講にあたり、高校で生物学を履修している必要はありません。
授業中に質問の時間を確保しますので、理解しにくいことがありましたら、積極的に質問してください。

[Essential courses]

Faculty of Integrated Human Studies